

2022年9月2日
第10回 関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会

関東甲信越ブロックの取り組み



埼玉県立 小児医療センター
Saitama Children's Medical Center

血液・腫瘍科 康 勝好



東京都立小児総合医療センター
Tokyo Metropolitan Children's Medical Center

血液・腫瘍科 湯坐有希



地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立
こども 医療センター
Kanagawa Children's Medical Center

血液・腫瘍科 柳町昌克



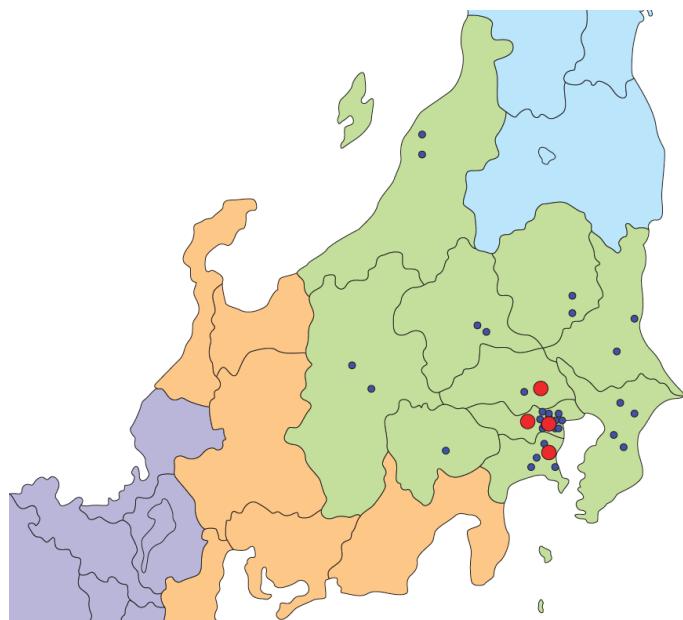
国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

小児がんセンター 松本公一

1

関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会

日本小児血液・がん学会の日本小児血液・がん専門医研修施設を基準とし、厚労省が指定した類型を考慮して、
41医療機関を選定した。



年間約1200例*の新規発症

*1197例（情報公開資料2019年による）

茨城県	茨城県立こども病院 筑波大学附属病院
栃木県	獨協医科大学病院 自治医科大学附属病院
群馬県	群馬県立小児医療センター 群馬大学医学部附属病院
埼玉県	★埼玉県立小児医療センター 埼玉医科大学国際医療センター 鶴ヶ島市立病院 さいたま市立病院
千葉県	千葉大学医学部附属病院 成田赤十字病院 日本医科大学千葉北緯病院 千葉県こども病院 千葉県がんセンター 帝京大学ちはらかわ医療センター QST病院
神奈川県	国際医療研究センター 東京都多摩総合医療センター ★神奈川県立こども医療センター 北里大学病院 横浜市立大学附属病院 東海大学医学部付属病院 聖マリアンナ医科大学人間医学部 消生会横浜市立病院
新潟県	新潟大学医歯学総合病院 新潟県立がんセンター新潟病院
山梨県	山梨大学医学部附属病院 信州大学医学部附属病院
長野県	長野県立こども病院 相澤病院
<行政機関>	
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県	
<オブザーバー>	
公益財団法人「がんの子どもを守る会」	
<協議会構成員>	
医療機関 47	
行政機関 10	
オブザーバー 1 (2022年5月現在)	

緩和ケアレクチャー開催しています

第32回	2021.6.4	疾患別の緩和ケアについて考える	国立成育医療研究センター がん緩和ケア科診療部長 余谷 暢之	先生
第33回	2021.9.3	小児緩和ケアにおける 薬剤師の役割について考える	日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 坂田 和佳子	先生
			国立成育医療研究センター 薬剤部 三浦 寄子	先生
第34回	2021.12.3	小児緩和ケアにおけるリハビリテー ションの役割について考える	鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 添田 遼	先生
			国立成育医療研究センター 作業療法士 深澤 聰子	先生
第35回	2022.3.4	終末期を見据えた地域との連携につい て考える ～小児がん患者の在宅移行について～	あおぞら診療所 しづおか 天野 功二	先生
			東京リハビリテーションサービス 看護師 澤村 清美	先生
			東京リハビリ訪問看護ステーション 認定理学療法士 町田 浩紀	先生

第36回 小児がん緩和ケアレクチャー
Zoomウェビナー開催日時：2022年5月20日(金)
18:30～20:00(予定)

参加用URL：
<https://us06web.zoom.us/j/83869570720?pwd=VzYzRml6N1FRKNUNE3VzMnRXUk8vdz09>
 ウェビナーID: 838 6957 0720
 パスコード : 20220520

当日 18:10～

緩和ケアレクチャーの後に、
同じテーマでディスカッションする場として、
「せいいくケアカフェ」を開催

3

**小児がん看護セミナー**

2022年度 国立成育医療研究センター主催 小児がん拠点病院 医療者育成事業
◆新型コロナウィルスの感染拡大を予防するため本研修はWEB開催です◆

今年も開催します



厚生労働省委託事業
小児・AYA 世代のがんの
長期フォローアップ体制整備事業



Lifetime Care and
Support for Child,
Adolescent and
Young Adult
Cancer Survivors

LCASのサポートと、
アドバンス研修の開催を行っています

LCAS 2021開催概要

第1回 2021年 08月28日
主幹：北海道大学病院

第2回 2021年 10月02日
主幹：九州大学病院

第3回 2021年 12月25日(土)
主幹：大阪市立総合医療センター

第4回 2022年 02月06日(日) 10:00～16:00(予定)
主幹：神奈川県立こども医療センター

今年度は
2023/1/24
@埼玉小児



アドバンス | 2022年 03月19日(土) 13:00～16:20(予定)

2022年度は東北大大学、静岡こども、兵庫こども、埼玉小児が主幹の予定。
LCASに関して、疾患・治療など基礎知識のe-learningを計画中。

◆研修は無料です。講師や研修内容は予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

◆下記のアドレスかQRコードにアクセスし、必要事項をご入力の上、

6月30日(木)までにお申し込み下さい。

<https://forms.gle/p7tnx1MYpJA8UV9F6>

◆研修約1週間に前から参加概要をメールにて送信させていただきます。



小児がん看護経験
1～3年目が対象です。



国立研究開発法人国立成育医療研究センター
小児がん看護セミナー(担当：丸山京美・萱沼さみ)
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
電話03-3416-0181 (代表)
E-mail : shounigankango@ncchd.go.jp

小児がん患者家族向けイベント 交流フェスタを2月に開催しています



みなさま、こんにちは。マサです。7月1日に就任式を迎えることができました。これから医療チームの一員として、子どもたちとご家族に寄り添い、ともにサポートしていきます。

7月は、計25名（のべ55名）の子どもたちとご家族を訪問しました。一緒に触れ合い、遊ぶことが中心ですが、毎日楽しく、病棟へ向かっています。



小児がんWEB交流フェスタ 2022

2022年

2月12日(土)



対象者 小児がんの患者さま・ご家族、医療関係者
その他、患者会・家族会、NPO等の団体や小児がんにご関心がある方

例年は国立成育医療センターにて開催している「小児がん交流フェスタ」ですが、今年もコロナ禍のためWEBで配信いたします。視聴をご希望の方、また交流会にご参加をご希望の方は右下の申し込みフォームでお申し込み下さい。

申し込み締切日：2月11日(金)

講演会 13:30-15:00

第一部

『造血幹細胞移植の今』

国立成育医療センター
小児がんセシター・移植・細胞治療科
坂口 大俊

『小児がんの

リハビリテーション』

国立成育医療センター
リハビリテーション科 作業療法士
深澤 聰子

第二部

『小児がん患者家族への 様々な支援について』

～相談支援センターと使える社会資源の紹介～

国立成育医療センター
小児がん相談センター
ソーシャルワーカー
鈴木 彩

WEB交流会 15:10-16:00

患者家族交流会（定員あり）

国立成育医療センターの患者家族会「あすなろクラブ」と小児がん相談支援センターの協働で行います。

他の医療機関の患者家族の方もご参加いただけますが、交流会は当院、他院の方々グループを分けています。患者家族以外の方のご参加はご遠慮ください。

各グループ15名を定員とさせていただき、先着順となります。



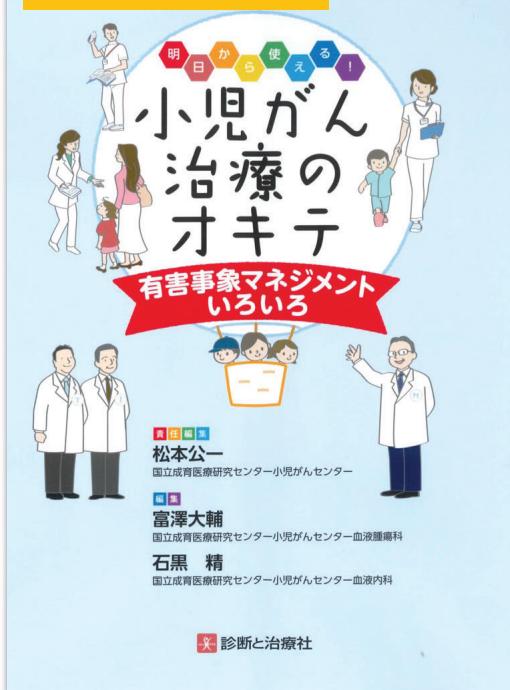
https://forms.gle/JZBpbbBoWaAUwEjz8



成育にもファシリティドッグが導入されました

5

成育医療研究センター



国がん・国立国際など6NCで共同して
TOP2研究（小児がんゲノム研究）
を推進しています



小児がんに対するゲノムプロファイリング検査の
臨床実装を目指す

研究者ページ

がんゲノム医療とは

JCCG-TOP2について

JH研究について

お問い合わせ

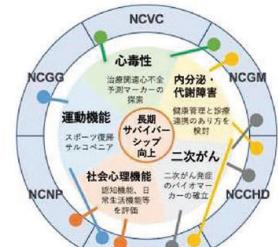


小児がんゲノム医療の
実現を目指して



小児・AYAがんに対するゲノムプロファイリング検査の臨床実装に向けた実行可能性を検討する
多施設共同前準備観察研究【JCCG-TOP2】

小児・AYA世代のがん患者の晚期合併症管理と
支持療法の向上に関する研究



成育の力を結集して、小児がん有害事象
マネジメントの本を出版しました

診断と治療社 5200円+税

6

6NCが「小児・AYAがん経験者の長期サバイバーシップ向上」という
目標に向けて一致団結し、持続可能な連携体制を構築していく



埼玉県立小児医療センターの取り組み：地域連携 さいたま市立病院との連携下での抗GD2抗体療法

【抗GD2抗体療法の概要】

- 「CSFレジメン」と「IL-2レジメン」からなる治療を交互に3回、合計6サイクル実施する
- 1サイクル約28日、合計約6か月間の治療で、1サイクル約2週間の入院
- 治療中はInfusion reactionや低血圧、疼痛など様々な副作用の予防や対策を要する

【当センターとさいたま市立病院の連携の流れ】

- 抗GD2抗体療法開始前に、さいたま市立病院と連携して抗GD2抗体療法を行っていること、3サイクル目以降はさいたま市立病院で治療を継続していただくことを保護者に説明する
- Webカンファレンスを通じて患者さんの治療経過を共有するとともに、紹介時期の調整を実施する。
- 全治療終了後は当センターでフォローを行う（現在までに6例の患者で連携）



当センター

さいたま市立病院
小児科

7

令和3年度 埼玉県立小児医療センター主催

「小児がん看護専門研修」開催のお知らせ

当院および関東甲信越地域の小児がん診療連携病院を対象とした研修です

ZOOMを用いたオンライン研修

第1回

小児白血病の新規プロトコールを学ぼう ～ALL B19・T19、AML 20の変更点～

令和4年1月21日(金) 17:40~19:10

講師:埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科医師 三谷 友一

第2回

小児がんのオンコロジックエマージェンシー

令和4年1月28日(金) 17:40~19:10

講師:埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科医師 塚田 博仁
小児救急看護認定看護師 細井 千晴

第3回

小児がんの治療中/後の感染症の病態と対応

令和4年2月4日(金) 17:40~19:10

講師:埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科医師 渡壁 麻依



● 当院の研修の特色

- 今年度は3回の開催で、「白血病の新規プロトコール」に関するトピックス的な内容と「オンコロジックエマージェンシー」「感染症」の基礎的な内容の2本立てとした。
- コロナ禍を鑑みてWEB開催とした。

● 参加人数

	院内	院外
第1回	39名	41名
第2回	25名	31名
第3回	42名	14名

● 受講後アンケートより

- 内容の理解、実践への応用については、各回共に「よくわかった」「役立つ」が95%以上で好評価であった。
- WEB開催は、「参加しやすい」「まあまあ参加しやすい」が95%以上であった。



埼玉県立小児医療センターの取り組み： 小児がん相談支援センター 患者・家族セミナー（web開催）



9

造血幹細胞移植後定期予防接種ワクチン 再接種費用補助金制度（埼玉県版）



概要

- 小児がん等の治療のため造血細胞移植を行った場合、定期の予防接種で獲得した免疫が低下もしくは消失し、感染症にかかりやすくなる。
- 感染症の発生予防や症状の軽減が期待される場合は、移植後の予防接種の再接種が推奨されているが、その費用は被接種者（保護者）の自己負担となっている。

**→ 埼玉県では令和3年4月から造血細胞移植を受けた20歳未満の者のワクチン
再接種費用を助成する市町村に対して、その経費の一部を助成する事業を開始**



対象者

- 造血細胞移植によって移植前に接種した予防接種法（昭和23年法律第68条）第2条第2項に定められた疾病（※A類）にかかる予防接種ワクチンの免疫が低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認める者
- 予防接種を受ける日において本県内に住所を有している20歳未満の者
- 令和3年4月1日以降の再接種であること

対象ワクチン

- 予防接種法第2条第2項に定められた疾病（※A類）にかかる予防接種であること
→ ジフテリア、麻疹、風疹、水痘、B型肝炎など
- 予防接種実施規則（昭和33年厚生省令第27号。以下「実施規則」という。）の規定によるワクチンであること
- 移植前に予防接種法、実施規則及び予防接種法施行規則（昭和23年厚生省令第36号）の規定に基づき実施された予防接種ワクチンの免疫が造血細胞移植によって低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認める予防接種であること



10



2021年度埼玉県立小児医療センター/けやき特別支援学校の高校生教育支援実績

		学年	受診科	支援期間	卒業・進級
埼玉県立 特別支援学校	普通科	3年	血液腫瘍科	6か月	逝去
	商業科	1年	血液腫瘍科	2か月	○
		3年	整形外科	3か月	○
		1年	整形外科	2週間	○
		1年	血液腫瘍科	2か月半	逝去
私立	普通科	3年	血液腫瘍科	6か月	○
		1年	血液腫瘍科	3か月	○
		2年	血液腫瘍科	9か月	○
		2年	血液腫瘍科	3か月	○
フリースクール	普通科	2年	血液腫瘍科	6か月	○

支援総数：10名 [血液腫瘍科 7名、整形外科 3名]

平均支援期間：4か月

- 特徴：① 様々な校種の高校生を支援した
- ② 授業配信、進路説明会への参加、友人や先生方との交流等、ICTを活用した取組みを高校から提案があり実施するケースが増えた

11

A Y A 世代がん相談情報センター 始めました

(1) センター概要

A Y A 世代がんの相談支援に関する情報等を集約し、患者・家族、医療機関関係者への情報提供等を行う。

また、A Y A 世代のがん患者同士が交流できるイベントを開催するほか、相談員同士の交流の機会を設け、支援の充実を図る。

(2) 設置場所（設置日：令和3年9月3日～）

聖路加国際病院

東京都立小児総合医療センター

(3) 主な取組

○ A Y A 世代がん経験者を対象とした交流イベント
「A Y A キャンサーサバイバーズミーティング」

○ A Y A 世代がん診療の相談支援に関わる
医療従事者を対象としたセミナー
「T o k y o A Y A C a n ネットワーク」

「A Y A 世代がん相談情報センター」を開設します！



思春期・若年成人（AYA世代がん※）の相談支援に関する情報を集約し、患者さまやご家族さま、また医療機関関係者の方へ情報提供等をする目的とした、「AYA世代がん相談情報センター」を都内2か所（区部・多摩部）に令和3年9月3日から設置いたします。
ぜひ、ご活用ください。

*AYA世代がんとは…
思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult）に発症する「がん」のことで、主に15～39歳までに発症するがんを指します。小児期に発症して、現在、AYA世代になっている小児がん経験者も含んでいます。

区部

【学校法人聖路加国際大学】
聖路加国際病院

住所：〒104-8560
東京都中央区明石町9-1
電話：03-5550-7098
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

多摩部

【東京都立小児総合医療センター】

住所：〒183-8561
東京都府中市武蔵台2-8-29
電話：042-312-8191
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

センターにおける相談対応内容

A Y A 世代がん
患者さま
ご家族さま

医療機関関係者
の方へ

(例)悩み事や不安なことについて、身近に相談できる窓口を知りたい。
・地域の医療機関でがんについて相談できる窓口を知りたい。など
その他、AYA世代がんに関するご質問・ご相談

また、患者さま向けの交流会等も企画していく予定です。

(例)AYA世代がん患者に対する相談支援に関する情報を知りたい。
・生殖機能保育について相談できる医療機関はないか。など
その他、AYA世代がんに関するご質問・ご相談

また、医療機関関係者の方を対象とした研修会や都内のがん相談支援センターなどの相談員さん同士の交流等の場も企画していく予定です。

AYAキャンサーサバイバーズミーティング @都立小児

- 参加者：28名



- 参加者：22名



13

Tokyo AYA Can ネットワーク @聖路加 (主幹) • 都立小児

- 内容：AYAがん入門
- 参加者：82名



- 内容：妊娠性温存
- 参加者：275名



14

令和4年度の活動予定

- AYAキャンサーサバイバーズミーティング
 - 現在AYA世代のがん経験者を対象とした交流会
 - 2022年8-9月にWeb開催予定
- Tokyo AYA Canネットワーク第3回公開ウェビナー
 - AYA世代がん支援に携わる人を対象とした研修会
 - **2022年7月9日（土）午後Web開催**
 - 就学支援、新規就労支援がテーマ
- AYAがん相談マニュアルの作成（聖路加、都立小児共同）

15

令和3年度小児がん看護研修 @都立小児

- 参加者：132名(院外91名)

2021年6月12日（土） 13:00-16:00 対象：院内外の小児がん看護初学者 場所：院内会議室+Web
目標： ①小児がんの疫学、病態を理解できる ②がん薬物療法の看護と、治療によって生じる疼痛看護の知識を得ることができる
小児がんの基礎知識 45分 講師：血液・腫瘍科医長 横川裕一 ・小児がんの疫学 ・小児がんの代表的な疾患と治療
がん薬物療法を受ける子どもへの看護 30分 講師：がん薬物療法看護認定看護師 上野翠 ・抗がん薬の基礎知識 ・がん薬物療法によって生じる有害事象のマネジメント
治療によって生じる疼痛マネジメント 30分 講師：がん疼痛看護認定看護師 土屋周平 ・疼痛の基礎知識 ・疼痛看護
小児がんのチーム医療 60分 ・小児がん患者と親への支援 講師：心理士 谷合知子 ・病気の子どもたちにとっての学校 講師：わかば学校コーディネーター 趙里愛 ・ファシリティドッグが子どもに及ぼす影響 講師：ファシリティドッグハンドラー 大橋真友子

- 参加者：58名(院外42名)

2021年11月28日（日） 13:00-16:00 対象：院内外の全ての看護師 場所：院内会議室+Web
目標： ①小児がん治療を受ける患者の妊娠性に関する知識を得ることができる ②小児がん患者の妊娠性に関わる看護師の役割について考えることができる
小児がん患者における妊娠性温存の基礎知識 60分 講師：聖マリアンナ医科大学産婦人科学 鈴木直
小児がん患者の内分泌フォローアップについて 60分 講師：内分泌・代謝科部長 長谷川行洋 臨床試験科 池川研人 ・外来での関わり ・発達段階に応じた子どもへの説明の実際
小児がん患者の妊娠性に関わる看護師の役割について 45分 グループワーク ・テーマ：小児がん患者に関わる医療者として、妊娠性に際してできることはなにか 内容 自己紹介 ディスカッション（35分） グループ検討内容の発表（10分）

16

令和4年度小児がん看護研修 @都立小児

2022年6月18日（土） 13:00-16:00 対象：院内外の小児がん看護初学者 場所：院内会議室+Web
目標： ①小児がんの疫学、病態を理解できる ②がん薬物療法の看護がわかる ③小児がんの子ども、家族への看護が理解できる
小児がんの基礎知識 60分 講師：血液・腫瘍科医長 横川裕一 ・小児がんの疫学 ・小児がんの代表的な疾患と治療
化学療法を受ける子どもへの看護 50分 講師：がん薬物療法看護認定看護師 上野翠 ・抗がん剤とは ・抗がん剤を受ける子どもの看護
小児がんの子どもと家族への看護について 50分 講師：小児専門看護師 西田幹子 ・入院する子どもの心理と関わり方について ・小児がん患者の家族の心理と関わり方について

2022年10～12月 対象：院内外の全ての看護師 場所：院内会議室+Web
目標： ①小児がん患者の長期フォローアップの必要性が分かる ②小児がんの治療を受けている子どもに行える入院中からの支援が分かる
小児がん経験者の長期フォローアップ 60分 講師：未定
長期フォローアップ外来の実際、移行期支援について 45分 講師：緩和ケア認定看護師 瀬戸真由里
小児がん治療を受けている子どもに明日から行える支援について 55分 グループワーク ・自己紹介 ・ディスカッション（35分程度） ・グループ検討内容の発表（15分） ・まとめ（5分）

 東京都立小児総合医療センター
Tokyo Metropolitan Children's Medical Center

17



神奈川県立こども医療センター の取り組み

- 小児がん従事者研修
- LCASの開催
- 小児がん啓蒙HPの開設
- 横浜市からの
小児がんLT FU外来への
補助金新設



18



小児がん従事者研修

2021年度 初級編

2022年度 アドバンス

項目	単元	項目	時間	タイトル
疾患及び治療の理解	1	①	45分	血液がん
	2	②	45分	固形がん
	3	③	45分	脳腫瘍
	4	④	30分	化学療法と治験
	5	⑤	20分	造血細胞移植
	6	⑥	30分	外科療法
	7	⑦	25分	放射線療法

全11回 web開催
神奈川県内だけでなく
全国の看護師・コメディカルの方
30~80名

項目	単元	項目	時間	タイトル
疾患及び治療の理解	1	①	45分	神経芽腫
	2	②	25分	小児がんとゲノム医療
	3	③	25分	小児・AYAがん患者の妊娠性について
	4	④	45分	骨軟部腫瘍
多職種連携	5	⑤	45分	造血細胞移植時の看護
	6	⑥	25分	小児がんと栄養（仮）
	7	⑦	25分	歯科の視点から見た小児がん患者
	8	⑧	20分	小児がん治療と薬剤支援
	9	⑨	25分	小児がんのリハビリテーション
	10	⑩	25分	小児がんの学習支援（相談員の立場から）
	11	⑪	45分	小児がんにおけるグリーフケア

2021年度

小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 LCAS -Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult Cancer Survivors

開催にあたって

小児・AYA世代（思春期・若年成人）のがんの治療成績は向上していますが、治療終了後に出現するさまざまな問題については医療者の間でさえ、まだ十分な理解が得られていません。このたび、小児・AYA世代のがんの長期フォローアップと小児から成人への移行期医療の重要性を、医師・看護師および関係する多職種の方々に認識していただくため、2017年度から継続している厚生労働省の委託事業の一環として研修会を開催いたします。

昨年度に引き続き、コロナ禍にてWEB開催となります、皆様のご参加をお待ちしております。

WEB開催
(Zoomミーティング)

横浜市大・南部病院・横須賀共済
成育医療センター・埼玉小児・都立小児
からも運営スタッフのご協力

第1回 2021年 08月

主幹：北海道大学病院

第2回 2021年 10月02日（土）

主幹：九州大学病院

第3回 2021年 12月25日（土）

初の7グループワーク開催

主幹：神奈川県立総合医療センター

第4回 2022年 02月06日（日）

主幹：神奈川県立こども医療センター



移植後患者指導用リーフレット (日本造血細胞移植・免疫療法学会)

全国成人版から
神奈川小児版を作成

LTFUリーフレット全国版③



予防接種

【移植後予防接種の特徴】

- 造血幹細胞移植後は、幼少時の感染、あるいは予防接種を受けてできた抗体が、徐々に減少することが多いため、ワクチンの再接種をお勧めしています。
- 移植後の予防接種は、**任意接種**です。
→接種の費用は**自費**となります。
- 接種による健康被害は、定期接種の場合の予防接種法に基づく救済とは異なり、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による**被害救済**の対象となります。



LTFUリーフレット全国版_小児改訂版③



予防接種

【移植後予防接種の特徴】

- 造血幹細胞移植後は、幼少時の感染、あるいは予防接種を受けてできた抗体が、徐々に減少することが多いため、ワクチンの再接種をお勧めしています。
- 移植後の予防接種は、**任意接種**です。
→接種の費用は**一部公費制度**があります。自治体窓口にお尋ねください。
→接種による健康被害は、定期接種の場合の予防接種法に基づく救済とは異なり、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による**被害救済**の対象となります。

LTFUリーフレット全国版_神奈川県立こども医療センター改訂版③

③ 予防接種

【移植後予防接種の特徴】

- 造血幹細胞移植後は、幼少時の感染、あるいは予防接種を受けてできた抗体が、徐々に減少することが多いため、ワクチンの再接種をお勧めしています。
- 移植後の予防接種は、**任意接種**です。
→接種の費用は**一部公費制度**があります。自治体窓口にお尋ねください。
→接種による健康被害は、定期接種の場合の予防接種法に基づく救済とは異なり、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による**被害救済**の対象となります。



【移植後に接種するワクチンについて】

大きく分けて、不活化ワクチンと弱毒生ワクチンの2種類があります。



違い

なもので、
す危険性な

接種時期（条件）

- 移植後6～12ヶ月以降
- 慢性GHDの増悪がない



るもので、
通常の感染
もおだやか
獲得を狙う

- 移植後1年以降
- 慢性GHDを認めない
- 免疫抑制剤の投与がない
- その後、輸血やガンマグロブリン製剤等の最終投与との間隔に関する規定あり

神奈川小児版から
全国小児版を作成し、
学会HPに掲載 21



地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立

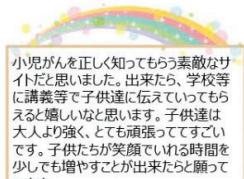
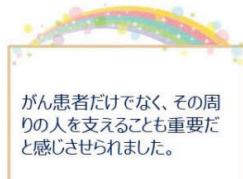
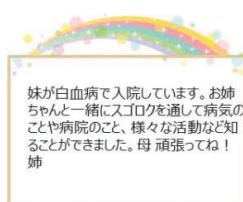
こども医療センター



2022年2月15日は
国際小児がんデー



皆様からいただいた応援メッセージを
掲載いたします！



小児がん啓蒙特設

ホームページ

2022/2/15～3/31開設
2500ビュー

オミクロン株の影響で
イベント開催を断念…。



22団体の
協賛を頂きました！

メニュー

小児がんの治療経過
すごろくです。
プレゼントの応募付きです！

応援ダンスを投稿して、
みんなで小児がんの患者さん
とご家族を応援しよう！

がんのお子さんたちを守って
画を見て、あなたと一緒に踊
ってみませんか？

8°C 小雨 □ 中風